

図書室だより

11月号



平成 29 年 11 月 1 日
春日部市立東中学校

今年もいよいよ残り二か月となりました。木の葉が色づき、風もひんやり冷たく、街を歩く人もセーターが似合う季節になりました。これからますます寒くなりますね。さて、11 月は旧暦（明治時代まで使われていた昔の暦）で「霜月」といいます。寒い朝には、透きとおった霜が見られるかもしれませんね。また、英名では（November）といえます。「9 番目の月」という意味です。なぜ 11 月なのに「9 番目の月」なのでしょう？それは、紀元前 46 年まで使われていたローマ暦が 3 月始まりだったからなのです。3 月から数えて「9 番目の月」が 11 月というわけです。不思議ですね。



《仕事について考えてみよう》



11 月 23 日は、「勤労感謝の日」です。勤労（仕事をする）を大切に、生産を祝い、国民がお互いに感謝し合う日、自分が働けることを喜ぶ日として、1948 年（昭和 23 年）に制定されました。昔、この日は、新嘗祭（にいなめさい）と呼ばれ、その年に収穫した新米を神様に供えて、実りを祝う行事が行われていました。

参考 ポプラディアより

{読んでみよう 仕事の本}

- *新 13 歳のハローワーク 村上 龍 著 国語が好き、社会が好き、理科が好き、体育が好き・・・好きな教科の扉を開けると、胸がときめく職業図鑑が広がる。自分に向く職業がきっとあると信じて、自分の仕事、人生、未来のことを考えてみよう。
- *夢のお仕事さがし大図鑑 全 5 巻 名作マンガで「すき！」を見つける本。名作マンガで活躍する主人公を紹介しながら、100 のお仕事を見開き 2 ページで解説。楽しみながら将来やりたい仕事について考えられる初めての図鑑。各界有名人の巻頭インタビューが魅力の本。
- *学校にいけない働く子どもたち 全 4 巻 世界中には学校に行きたくても行けないで、働いている子供たちがたくさんいます。一生懸命、家族のために、自分自身のために、働いている子供たちがいっぱい載っています。勉強の好きでないその君、学べる幸せが実感できる本です。
- *5 教科が仕事につながる！ぼくとわたしの職業ガイド 主要 5 教科・別巻からなる本で、学習が将来職業でどのように役立っているのかを紹介している本。あこがれの職業から、学習のモチベーションを高めることのできる本。学習の力を活かして働いている人を紹介しています。
- *なるには Books 第一線で活躍する人たちの生きた仕事現場を取材するほか、歴史や全体像、将来性も含めながらわかりやすく解説してあります。君が、なるための適性や心構え、必要な資格や、問い合わせ先なども詳しく紹介してあり、働くことが身近に感じられる本です。
- *中学生・高校生のための仕事ガイド 中学生・高校生を対象に、職業とその仕事内容をわかりやすく紹介してあることと、仕事につくための方法や必要な資格、給与や勤務条件などをコンパクトに解説してあることが特徴の本。なるには Books とあわせて読むと最強の力になります。



《おすすめの本》



- * 『ぼくの命は言葉とともにある』 福島 智 著 3歳で右目を、9歳で左目を失明。18歳で失聴する。全盲ろう（目が見えず、耳が聞こえない）となる。「石のように眠り、パンのように起きる。」（石のようにストーンと寝て、パンのようにふわっと起きる。）それが幸せなんだ。ともかく生きている、何があっても生きていけば、それだけで人生のテストで80点から90点を取れている。生きていけるといいね。心が軽くなり、平凡な日常に幸せを感じる一冊です。
- * 『幸せは見えないけれど』 グエン・クーパー 著 盲目の子猫ホームーに教わった恋と人生、話題の猫エッセイです。子猫は感染症にかかり瀕死の重体で、病院に連れてこられ、飼い主から安楽死を希望される。しかし、獣医師は盲目となった子猫の感染症を完治させ里親を探す。条件の厳しい盲目の子猫を引き取り里親となったグエン。目の見えないホームーは、臆病ではなく勇敢で、誰とも仲良くできる愛情豊かな子猫となる。子猫のかわいらしさに癒されます。
- * 『ぶた にく』 豚の写真絵本集—お店で売られている食肉は、生きて動いていた豚の体の一部です。生まれたての子豚（手のひらサイズ）が成長し、出荷されるまでを描いた、優しい気持ちになれる奥が深い本です。かけがえのない命をもらっていることを忘れないでください。
- * 『ニッポンのご当地ごはん』 全3巻 札幌のスープカレー、名古屋の小倉トースト、宮崎県の冷や汁、長崎県のトルコライス……。日本各地の郷土料理やB級グルメを選び対決形式のビジュアルレシピ本。料理の生まれた背景やエピソードなど地域のかかわりも紹介されていて、わかりやすく丁寧に解説してある本。66レシピ（写真も）載っている夢のような本。
- * 『「原因」と「結果」の法則』 英国が生んだ謎の哲学者、ジェームス・アレンの本です。訳者である私がこの本をクリスマス・プレゼントとして手渡されたときに、彼が言った「何かあって落ち込んだりしたときに読んでごらんください。人生なんて、とても単純なものなのよ。」という言葉が忘れられません。この本は、世界中の無数の人々を勇気づけてきました。
- * 『顔ニモマケズ』 どんな「見た目」でも幸せになれることを証明した9人の物語。生まれ持った人、けがや病気の人、様々な理由で人とは違う見た目に悩んだ人の話。人生に起きた出来事とそれを乗り越えて幸せをつかんでいく過程は、感動的な「物語」。9人の物語を味わいながら、人生をより幸せにしてくれる方法や人の魅力について考えることのできる本。
- * 『ちょっとだけ』 これまで100%愛情を注がれていたなっちゃん。なっちゃんの家で、赤ちゃんが来ました。途端にママにかまってもらう時間が少なくなりました。お姉ちゃんとして頑張ってみよう、けどやっぱりちょっと悲しい……。なっちゃんの姿にホロリとききます。
- * 『おこだでませんように』 小学校の課題図書になった本です。いつもお母さんや先生に怒られてばかりのやんちゃな男の子の話です。子どもなりに一生懸命、悩んで、考えて行動している素直な男の子の気持ちを知ることができます。最後はきっと誰もが涙してしまいます。
- * 『ママがおばけになっちゃった』 ママは、車にぶつかりお化けになりました。突然お化けになったママ。一番心配なのは、4歳になる息子のかんたろうのことです。夜12時にかんたろうの部屋にくるママ。最初信じなかったが、脇腹のお肉で空を飛ぶママをみて、「デブママだ。」親がいるのが当たり前のことではなく、感謝することに気付かせてくれる本です。